

MU・関西 ニュース

第97号 2005.04.08-
『管理職ユニオン・関西』ニュース
発行MU・関西ニュース編集委員会
URL: www.mu-kansai.or.jp
E-mail: sodan@mu-kansai.or.jp
URL: www.mu-keiji.gr.jp
E-mail: sodan@mu-keiji.gr.jp

〒530-0044 大阪市北区東天満2丁目2番5号 第二新興ビル605号 TEL(06)6881-0781 FAX(06)6881-0782
〒600-8148 京滋支部 京都市下京区七条東洞院西北角 ORKビル5F TEL/FAX(075)353-4334

第76回 5月1日メーデー

メーデーは、年に一度、世界中の労働者が一斉に行動、自らの権利を主張するという重要な日です。是非ご家族みなさんで参加しましょう。

日 時・・・2005年5月1日(日)10時00分
会 場・・・中之島剣先公園(天神橋下) / 京阪・「天満橋」「北浜」
集合場所・・・9時半に事務所集合・10時現地結集(どちらでも可)

管理職ユニオン・関西の青い旗と帽子が目印
大阪駅までデモ行進します。昼過ぎ頃終了予定です。
終了後 阪神デパートの屋上で昼間のビアパーティに参加予定!
主催 第76回中ノ島メーデー実行委員会

事務所の運営は組合員全員の手で

さあ春！月に一度は参加をしよう！

私達の活動の基本は、相談者・加入者が闘いを始めた時、その闘いをサポートすることにあります。皆さん、月に一度は組合活動に参加しませんか？有給休暇を取って事務所に来ませんか？この不況で労働相談は後を絶たず、交渉や闘争も増え、事務所業務は非常に多忙になっています。労働相談、団体交渉要員、裁判傍聴など、組合員の皆さんの応援をお願いします。

解決おめでとう

平成 17 年 3 月 28 日 作成 : Y

4 年分の感謝を込めて。

過去 4 年間に渡り会社に対して孤独な戦いを続けてきましたが、管理職ユニオン関西様のお力を借りて遂に解決に至りました。どうも有難う御座いました。

どんな会社だったか？

私は某百貨店系の商社に勤務しておりました。それほど大きな規模の会社でもありませんでしたが、非常に収益性の高い商権（取り引き）を持ち、バブルが崩壊してからも相当の長い間、順調な業績と待遇、家族的な温かい社風を維持してきました。社長を始めとする役員は従来から親会社からの天下り組が中心でしたが、実際の会社の運営は生え抜き組みの番頭格が中心にしきる等、言わば返還前のイギリスと香港のような関係でした。

その中で私は会社の大黒柱とも言えるその商権を担当する部署に配属となり、入社後すぐに長期の海外出張に行かせてもらったり、その後は小規模ながら海外拠点の 1 つを任せてもらい、念願であった海外赴任をさせて頂いたり、小規模な会社ならではの、チャンスに恵まれて順調なキャリアであったと思います。

しかし、私が帰国した頃から大黒柱商権が傾き出し、親会社からの管理・干渉は日に日に強くなっていきました。親会社から降りてくる社長は業績改善のプレッシャーを当然背負っているのですが、百貨店の殿様商売しか知らない人達が生き馬の目を抜く商社業界で実のある戦略を策定・実施出来る訳も無く、当然の結果として経費削減と人件費削減、言わば無能経営者御用達の「引き算の経営」ばかりが強化されて行きました。先ほどの例で言いますと、返還された香港に大陸中国の影がひたひたと迫ってくる、そんな状況でした。

経緯

一方で海外から帰ってきた私は燃えていました。お金と時間を私に掛けてくれた、チャンスを与えてくれた会社に対して少しでも貢献したかったのです。海外に出て見えた日本・自社の強み弱みを踏まえて積極的に従来のビジネスに新風を吹き込んで会社の成長に貢献しよう。そう意気込んでいました。

ところが社内の雰囲気はすっかり萎縮していました。いよいよ吹き始めた不況風、プレッシャーが強まる中、一向に業績改善の目途が付かない閉塞感、追い討ちを掛けるように矢継ぎ早に繰り出される経費削減、組合の弱体化と人件費削減目的が見え見えの成果主義の導入、そこに希望退職の募集です。日々強まる圧力に問題を避けて我が身の保身だけを考える空気が充満していきました。組合で積極的に発言し、日々の業務でも新しいことを積極的に仕掛けて行こうとする私のような者は厄介者でしかなかったのです。

このような空気の中、経営側の代弁者としての役割しか持たない直属の上司との摩擦は激しさを増し、私への風当たりは非常に強くなってきました。特に 2003 年 6 月に現在の社長が就任してからは私への仕打ちは常軌を逸したものになって行きます。

社長就任と同時に私は大阪本社の経営戦略室から福岡事務所へと異動になりました。今振り返ると、これは私を目の仇にしていた当時の上司が新社長就任に合わせて私を厄介払いにした人事であったと思うのですが、この上司の執拗ないじめに辟易としていた私にとってはむしろ渡りに船、とばかりに小躍りしていました。

ところが僅か 3 ヶ月でまた大阪に戻れとの辞令。当然激しく抗議しましたが、大阪で食品の経験を積んでまた福岡に戻れば、という話を間に受けて了承しました。ところがその後も大阪食品には 5 ヶ月、大阪総務部に 1 ヶ月、情報開発に 9 ヶ月、と異動は繰り返されます。勿論こちらは異動の希望など全く出していないにも関わらずです。更にはこの短期間の経験の中で実績を残せなかった

からと言っては人事考課で最低評価のDをゴリ押しして来るに至り、遂に私も行動を起こさざるを得ませんでした。

私を目の仇にしている上司がD評価を不当に押付けて来る旨、社長に直訴したのです。この時の社長の回答は「お前がBかDかわしが知るか。上司とお前なら上司の言う方を取る。文句があるなら苦情処理委員会に訴えろ」というものでした。これを受けて企業内組合に相談したところ、当事者同士の問題で組合は知らん、に始まり、逆に私の方に非が有る、恣意的なものを感じるとまで言われ、二重に傷付く結果となりました。勿論、苦情処理委員会も開かれませんでした。

このような中、更に異動が出され、法務審査室に異動となりました。度重なる異動は本意ながらも部署が変わって上司が替わればD評価のゴリ押しも無くなる、そう無理に前向きに捉えてやり直した矢先、法務審査室での人事考課にも前の部署の上司評価が入る事が判明しました。この点は組合にも散々確認を取り、100%法務審査室での評価だ、とのお墨付きまでもらったにも関わらずこのざまです。新部署に追い掛けてまで、何が何でもD評価をつけようというのです。

ここに至って私の精神状態にも遂に限界が来ました。精神科で休職の診断を受け、お休みを頂く事になったのです。気が付けば1年の間に経営戦略室、福岡事務所、大阪食品部、総務部、情報開発室と5つの全く異なる部署を回っていました。福岡大阪間の二度の引越しを含めです。

参考： 私の人事異動 ～70年に1度のその軌跡～

- ・ 人事政策上、相互になんら関連性の無い部署間の配転、また、極端に短い赴任期間等、常軌を逸した人事配転を繰り返した
 - ・ 1年間に5つの異なる部署の異動（2003.05～2004.04）
 - ・ 内福岡事務所は家族帯同の引越しにも関わらず3ヶ月のみの赴任
 - ・ 過去4年で9つの異なる部署の異動（2001.02～2005.01）
 - ・ 海外 名古屋、名古屋 大阪、大阪 福岡、福岡 大阪と4回の転居
- | | | | | |
|-------------|---------|----|-------|-----|
| メルボルン駐在員事務所 | 2001.02 | まで | 2年1ヶ月 | 所属 |
| 名古屋支店 | 2002.02 | まで | 1年 | 所属 |
| 大阪本社 経営戦略室 | 2003.05 | まで | 1年3ヶ月 | 所属 |
| 福岡事務所 | 2003.08 | まで | 3ヶ月 | 所属 |
| 大阪食品部 | 2004.01 | まで | 5ヶ月 | 所属 |
| 大阪総務本部 | 2004.02 | まで | 1ヶ月 | 所属 |
| 情報開発チーム | 2004.11 | まで | 9ヶ月 | 所属 |
| 法務審査室 | 2005.01 | まで | 1ヶ月 | 所属 |
| 大阪総務本部 | 2005.01 | から | 現在 | に至る |

反 撃

休職中、私は家族を残してきた福岡に戻り、じっと考えていました。会社が私にして来た事、これは正しいことだったのかと。しかし、答えはやはり明確でした。明らかに会社が正義に反しているのです。確かに私も完璧な社員ではありません。むしろ非常に欠点の多い方だと自覚しています。しかし、どのように考えてもここまでの事をされるだけの何かをした訳がありません。そりゃそうです。70年に及ぶ会社の歴史の中で1年に5つも異動が有った試しが無く、そのような非常識な会社側のやり方に正当性など有る訳がありません。

正直、もう、休職のまま辞めたい、という誘惑もありました。でもこのまま会社を去るのは会社側の思う壺であるばかりではなく、今後も同じやり口で何十人も退職の追い込まれる。そう思い至った時、私は会社と戦う決心をしました。こんな悲惨な目に合うのは私を最後にしたかったのです。

ところがその具体的な方法がわかりません。この4年間、孤独な戦いを続けてきましたが、以前会社の先輩が「個人と組織では勝ち目が無いよ。」と私に言ったように、孤軍奮闘空しく、何も変わっていません。今までの戦い方の限界を感じながら時間が過ぎて行きました。しかし、ある時ひらめいたのです。「組織対組織の戦いにすれば戦えるかもしれない！」と。それから友人に情報収集を続けて行く中で管理職ユニオン関西の存在を知ったのです。

それからは素早かったです。電話で先ず相談に乗っていただき、大阪に戻りユニオン事務所にて

事情を説明し、その場で加入。翌日には会社にユニオン加入通知を渡したのですが、その時の経営陣、組合の人達の顔は今でも忘れられません。まさに黒舟到来の瞬間でした。

翌々週に第1回目の団交。案の定、私に直接恫喝を行った社長は出てきませんでした。自分で社員を休職に追いやる程の精神的ショックを与えておいて、いざ外部の組合と交渉となると、全く経緯がわかっていない自分の部下を矢面に立たせる。普段はリーダー気取りのこの社長の器を改めて実感しました。悩まれている皆さん、どんなに会社で威張っているトップと言っても所詮この程度なのです。臆する事無くユニオンの一員となって戦ってやりましょう。

団交は今回の休職に至った一連の異動事実の確認、それに対しての会社側の説明という形で行われました。会社側は都合の良い事ばかり有る事も無い事も取り混ぜて全部ぶつけてきます。非常に堪え難い時間であり、実際私も反論を試みて取り乱す一幕も有ったのですが、ここは冷静に行きましょう。反論する機会は後で幾らでもあります。この団交の場でいちいちやりあっていると、それだけで団交が終わってしまうのです。この辺りの感覚をつかむ為にも御自身の団交に挑む前に他組合員さんの団交の応援に行かれる事を強くお勧め致します。

一通り会社からの説明が終わった後、大浜さんより、社長の私への恫喝のお話を出していただきました。実は大阪で情報開発部への辞令を頂く時に、社長から信じられないような話が有ったのです。「もうお前には行く所が無い。次の部署が最後のチャンスだと思え。上司・先輩にも厳しくしごけと言ってある。お前がその結果辞表を出してもわしは受け取る。ここで駄目だったら2等級(大卒新入社員相当)1等級(高卒新入社員相当)にも落す。それでも駄目なら倉庫で作業をやらせる。」という内容でした。この発言の事実確認と会社の見解を頂きたい旨伝えた時、会社側の出席者は凍りついていました。

参考： 社長(1部上場企業執行役員)による恫喝

- ・ 「もう他に行くところは無い、これが最後の部署と思え」
- ・ 「3等級から2等級(大卒新入社員)1等級(高卒新入社員)への降格もする」
- ・ 「最終的には作業職にまで落して倉庫で働かせる」
- ・ 「(新部所での)上司、先輩にもお前を厳しくしごけと指示」
- ・ 「もめても上司・先輩の方を支持する」
- ・ 「仮にお前が辞表を持って来ても上司・先輩の言う事の方を聞く」
- ・ 「社長に対する数々の失言、処分も検討する」(私の抗議に対して)
 - ・ 「(最後に退席する際に呼び止めて)今回の話は全て口外禁止だ」

勝 利

1週間後、会社から回答が来ましたが驚くべき内容でした。社長の恫喝については、社長の他の状況での発言を私が混同している、に始まり、倉庫で作業云々は他社ではそのような例も有るが、そうならないように頑張ってくれと励ますつもりだった、等と完全に事実を捻じ曲げて来るのです。もう、ここまで露骨に事実を認めない姿勢に交渉の限界を感じ、以降の交渉は事務折衝中心に勧めていただくことにしました。

退職条件を勝ち取る為の交渉を続けましたがここでも会社は小出しに譲歩をする牛歩戦術を取るなど、見苦しい対応が目立ちましたが、従業員の身心の健康を守る為の安全配慮の不足への指摘等、効果的に交渉を重ねて頂いた結果、最終的に望む条件での退職を勝ち取る事が出来ました。ユニオンの協力を得てもここまで白々しい二枚舌を使う会社ですから、私が個人で交渉する事は全く不可能だったと思います。不本意退社から私を救ってくれた、もっと言えば、私の会社に残る全員を会社からの不当な虐待から救ってくれた管理職ユニオン関西には心から感謝致します。今後も側面から協力させて頂ければと思います。繰り返しになりますが、本当にありがとうございました。

和解報告



K・F

やっと、我々の労働問題について和解が成立いたしました。正直、ほっとしています。平成16年10月1日に管理職ユニオン・関西の組合員となり、会社に対して「サービス残業を進言したことによる懲戒解雇を撤回せよ！」と団体交渉7回実施し、平成15年11月、大阪地方労働委員会に、平成16年5月に大阪地方裁判所に提訴いたしました。そして、平成17年2月8日に和解が成立いたしました。

約1年4ヶ月、会社と戦ったことになりました。

当初は、こんなに、労働問題が長期化するとは思っておらず、また、組合闘争については、殆ど無知だったため手探り状態でした。法律知識についても勉強し、準備書面など文章作成の日々が続きました。地労委に提出した証拠説明書は、100号証以上を超えます。

私たちは、平成16年3月25日に懲戒解雇となり、給与も2月20日で支払いがストップとなったため、失業保険をもらいながらの戦いでしたが、やはり、「給与」というパイプラインを切られますと時間がたつにつれ家族の不安(特に家内)は増大し、会社だけでなく家内との対立も勃発し相当精神的にまいってしまいました。子供の運動会などビデオをとっていると涙があふれてとまりませんでした。やはり、自分だけ戦うのであればとことん戦うという選択もありますが、私の場合、中1、少4のまだ小さい子供をも抱え、これからお金がかかるので家内の不安は相当なもので生真面目な性格もあり、私以上に精神的肉体的(パートで)に疲労のピークに達していました。

恐らく、もっと闘争が長引けば家庭崩壊も十分ありえたと思います。自分だけ戦っていると思っても実際は家内も子供もそして我々の両親をも心配させ結局は自分の周りの人たちを巻き込んでしまいます。当然、そういうことも覚悟の上というのはありますが、自分の意地を押し通し、社会に正義を訴えるということと家庭を守り小さな子供を養っていかないといけないという父親としての責任の間で相当苦しみました。

やはり、給与が入ってこない状況での戦いは早期に決着をつける戦略が必要かと思えます。正直、地労委、裁判は大変時間がかかり、会社側の「時間を稼ぎ、労働者側がへたるのを待つ戦略」にまんまといやでもはまってしまうのです。(孫子の兵法を学ぶ必要があるかもしれません)最初の入り口の段階での戦い方をユニオンの方々と十分検討されることを是非、お勧めいたします。我々の戦いも組合としての戦い方(組合の強み、労働者の権利)が十分効果的に活用できておらず、もっと、ああいう風に戦っておけばよかったということもありました。

今は、新しい人生のスタートの入り口に立ち、これからきっとよくなると信じ、日一日を家庭と自分の人生再構築のためがんばっています。長いトンネルもいつかは必ず入り口が見えてくると信じて組合員の皆さんがんばってください。

以上

あなたの経験、または意見を大募集しています。(組合員・非組合員を問いません)
内容は特に限定しませんが、ユニオンの大会方針『明るく！楽しく！元気を広げよう！』
『自立・連帯・協働』に基づくあなたの文章をください！

また、組合員の皆さんの仕事や再出発も応援しています。どんどん紙面を活用してください。

例題：解決しました！ 就職しました！(苦労談) 事業を開始しました！
会社にこうして居座っています・ETC 締め切り：毎月月末
できれば、メールもしくはフロッピーを郵送してください。(Faxも可)
連絡は教育宣伝部・大浜まで

予告 公開学習会

アソシエーション論の第一人者 大学教授 T 氏を迎え、公開学習会を開催します。みなさんの参加を募ります。

日時 5月21日(土) 14:00~

場所 管理職ユニオン・関西 事務所

メンタルヘルス委員会主催学習会の報告。 N

K 先生レジメ(一部変更)より。

早期発見

- 1) よく眠れるか？
- 2) 楽しかったのが急に興味を失う。
- 3) 食事がおいしく感じない。
- 4) 集中・決断・思考力、仕事能率低下。
- 5) 悲観的、死んだほうが楽と考える。 2週間以上続くと要注意。

うつが生じやすいとき

- 1) 生活・仕事の基盤に大きな変化。
- 2) 2,3の大きなストレス同時並行。
- 3) 体調に大きな変化が生じる。
- 4) 薬剤によるもの。
- 5) ステロイド・インターフェロンうつ病 季節の変わり目。

予防

- 1) 良質の睡眠確保。 半身浴、ハーブティーの利用
- 2) 朝日にあたる(30分程度)
- 3) 呼吸法(腹式)
- 4) 簡単な体操(ゆっくり、呼吸法)
- 5) 半身浴(40、20分程度)
- 6) 便通をつける(繊維食、腹部マッサージ)
- 7) 食事のとき良く噛む。
- 8) 納豆を週に2回以上。
- 9) 就寝時には楽しいイメージを
- 10) よく歩く。

* うつ的思考の三大誤謬。

自分ほどダメな人間はいないと思う。

私は、いっそいないほうが、良いと思う。

うつは、自分本来なので、変わらない。

「もう、死ぬしかありません...」受話器から聞こえてくるか細い声、組合の電話相談でのことです。私の頭の中では『どうしよう困ったな』『とにかく落ち着いて、落ち着いて』自分に言い聞かせます。『とりあえず、相談者の話を聞いてみよう』電話が終わって受話器を置いた後、果たしてこれで良かったのだろうか？自問自答を繰り返します。そんな悶々としていた時、今回の学習会に参加してちょっとした答えを得た気がします。

平成17年3月12日、メンタルヘルス委員会主催学習会を開催いたしました。参加者36名という盛大なものでした。委員会として、組合行事の動員はしませんでした。いかに「メンタルヘルス」が皆様の関心があったということです。

K先生に講師になっていただきました。先生のご略歴をご紹介させていただきます。先生は、元京都市の職員さんで市民の心の相談に乗っておられました。その後、お考えになられたのでしょうか、大学医学部をご卒業され、病院で勤務医をされた後、今の地に開業されました。労働者の気持ちも理解された先生です。

上記のK先生の作られたレジメを参考にしながら本文を読んでいただきたいと思います。先生は患者さんに「よく眠れますか？」「早朝目がさめませんか？」と質問されるそうです。「快適な睡眠があればたいいの疾患は治るものですよ」と説明されました。快適な睡眠を得るためには、朝日にあたる。適度な運動をする。半身浴(39~40、20分)で体を充分温める。寝る前にはコ

ーヒ等、カフェインを含む刺激は控える。 ラベンダー等、神経をリラックスするハーブを利用する。 就寝時には楽しいイメージを。 よく歩く。 生活習慣病や肥満(睡眠時無呼吸症候群)等がある方は、それを治す。などまずはライフスタイルを工夫する。それでも無理なら、最後の手段として「お薬」を信頼できる医師に処方してもらおう。とっておられました。

私事になりますが、私の主治医はいわゆる薬で治すタイプです。生活指導は一切ありません。私は主治医を100パーセント信頼しています。しかし、K先生のように生活指導をして下さる先生に診てもらえる患者さんは幸せだと思いました。

うつに限らず病気は早期発見・早期治療が大切です。レジメ「早期発見」の1)~5)が2週間以上続く様であれば要注意です。まずは、かかりつけ医(内科医や女性なら婦人科の先生でもいい)に相談しましょう。K先生のお話では、人間には本来、自然治癒力があるそうです。仕事など職場に問題がある場合は、思い切って転地療養(日常から離れる)することによって良くなることもあるようです。私の場合も思い切って長期に休職をして、回復しました。

「うつを生じやすいとき」としてレジメにまとめてある変化に注意をしましょう。K先生のお話では、市の職員さんで、昇進の辞令を持ったまま屋上から飛び降り自殺をした人もあったそうです。今月つまり4月はどこの会社も年度変わりです。ご自分のメンタルヘルスに充分すぎるほど気を配ってください。おかしいなと思ったら、まずは専従さんに、次に先輩組合員に相談をしましょう。決して一人で抱え込まず問題を分かち合いましょ。私も、「うつのはらさは、筆舌に尽くし難い」といいます。「うつ」の治療が成功した人は、2度と「うつ」にならない様に予防に心がけるといいます。また、雑誌「アエラ」によると、「うつ」の再発率は40%といっています。

「うつ」の予防として先生はレジメに、極めて具体的に書いておられます。1)~10)を生活に出来るだけ取り入れ「予防」して行きましょ。学習会では実技指導をしていただきました。私は、欲張りですから、全てを生活に取り入れようと思います。

認知療法についても触れていただきました。認知療法については、先月の機関紙を御参考にしていただければ幸いです。

最後に「うつの考えの三大誤謬」についてお話していただきました。「自分ほどだめな人間はいないと思う。 そんな自分だから、いっそいないほうが、職場にも、家庭にも良いと思う。今の(うつ)状態は、自分本来のものに原因があるので、変わりようがないと思う」

うつ病に特徴的な症状の一つとして「自殺念慮」というのがあります。「とにかく、死にたい、死んだほうがいい」という気持ちが湧いてきて頭から離れなくなってしまいます。そんな時、私はどんな言葉をかけようかいつも考えます。

「家族のため死なずに頑張れ」といった励ましや、「死ぬなんてばかなことは考えるな」という叱責ではなく、「死にたいと思うというのは、さぞかし辛く苦しいでしょうね。それをよくここまで耐えて来られましたね」と労をねぎらい、そして「死なずにここにいてくれて、ありがとう」ということにしています。「ここにいてくれてありがとう」「あなたがいてくれてありがとう」。K先生は「うつ病」についての「早期発見」「うつ」の生じやすいときそして、その「予防」と身振り手振りを入れて、懇切丁寧に教えていただきました。K先生に心から感謝をします。そして、お忙しい中、参加していただいた全ての組合員様に心から感謝いたします。

派遣・パート関西労働組合のポスティング支援

派遣・パート関西は、思ったほど組合員が集まらず、運営委員の方々も苦勞されています。管理職ユニオンの有志で、ポスティングを支援しようということになりました。

各組合員の方々のご自宅周辺でポスティングをして頂けませんか。協力者を募ります。協力して頂ける方は連絡お願いいたします。ビラを送付させていただきます。

ポスティング行っていただいた後、どの地域に行っていただいたか、連絡頂ければ、幸いです。

連絡先 06-6881-0110 (派遣・パート関西) 内藤・仲村

学習会 “ おれおれサギ、メールサギ ” に引っかからないために

相談・対処活動の体験報告も織り交ぜて

講師 M (市会議員、司法書士) さん
日時 4月21日 (もく) 午後7時から9時
場所 なかまユニオン事務所 電話 06-6242-8130
都島区東野田 4-7-26 和光京橋ビル 304号 JR、地下鉄京橋下車
主催 関西ユニオン交流会 (管理職ユニオン・関西、北大阪合同労組、なかまユニオン、八尾ユニオン)

無の家 2005年3月8日 (火) 晴れ (小宮勇介)

春らしくなってきました。いかがお過ごしでしょうか？最近毎日、氷上町に間伐に行っています。森の多様性が戻り、ヒノキも大きくなったらいいなあと思います。

2月25日に友人が彼女と来てブルーシートの上で大豆を踏みつけて脱穀がやっと終わりました。角材にたたいて脱穀するより、ほこりも出ず速くて楽です。足踏み脱穀機のほうがもっと速そうです。

ところで伊藤孝司著「地球を殺すな！環境破壊大国・日本」(風媒社、2004年11月)を読みました。国内のことしか関心がないと、世界で日本企業などがやっているさまざまな環境破壊のことを知ることが無いのではと思いました。日本のODAで行われ、先住民を強制立ち退きをさせたコトパンジャンダムが年末のインドネシアの地震と関係してるのかもしれないと思いました。

<http://www.jca.apc.org/~earth/>

無の家の企画：庭の松を丹波の木こりの方に切ってもらったので、斧を使って、風呂焚き用の薪割りができます。土日は奈良の大峰・稲村ヶ岳へ行っていました。ラッセルが結構あって楽しめました。

無の家 2005年3月29日 (火) 晴

最近木こりの休みの日に畑を掘って田んぼを少しずつ増やしています。スコップでミミズを殺してしまいます。畑にばら蒔いたエンドウも順調に芽を出しています。ミツバが少しだけ出てきました。フキノトウを味噌汁に入れて食べました。苦くておいしかったです。麦は蒔く時期が遅かったのもありますがまだ20-30センチです。ところで、水路に足踏み水揚げ水車を寄贈して下さるという話があるのですが、人工林の木を使って発電用の水車ができれば、見捨てられた人工林の活用と、電力自給ができてよいと思いました。梅がきれいに咲いていて、もうすぐ花見の季節です。ぜひ一度篠山に花見にお越しください。

情報システム委員会からのお知らせ

2005年度 パソコン学習会

パソコンは操作すれば操作するほど、少しずつ上達します。まずは慣れることから始めましょう。初心者の方、大集合です。キーボードが打てなくても大丈夫。お気軽にご参加ください。組合事務所楽しく勉強しましょう。又、当日お手伝い頂ける方も募集しています。可能な範囲でお互いを助け合いましょう。

パソコン学習会 予定 事務所まで電話で予約をお願いします。お気軽にご参加ください。

2005年4月17日(日) 13時~17時 パソコン入門履歴書の書き方。

5月22日(日) 13時~17時 ソコン入門 お絵描き編その2

場所：管理職ユニオン・関西事務所

情報システム委員会 スケジュール 次回：5月度は5/11(水)

新入組合員学習会

4月30日(土) 14時~16時 管理職ユニオン事務所

管理職ユニオン・関西とは、どのような労働組合なのか？ 組合の活用法、リストラ対応策、団体交渉の進め方、事務所での対応などについて学習します。

悩んでここに駆け込んだのはあなただけではない事を知り、実体験を語り合うことによってストレスを発散し、会社社会とは全く違う集まりを実感します。そして、それぞれが抱える問題を考え、どのように解決していくのか、アドバイスを受けながら客観的に考える機会でもあります。

新入組合員の方は必ず参加して、より早い解決を目指しましょう。

今まで参加していない組合員の方もぜひ参加してください。

